

2025年度業務実績報告書

提出日 2025年12月17日

1. 職名・氏名 准教授・森本康太郎

2. 学位 博士（心理学）、専門分野 心理学、授与機関 関西大学、授与年 2022年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 キャリア形成論（2単位）1年次
②内容・ねらい 本科目は一般教育科目として開講された。学生生活の充実とキャリアデザインの関連を確認したうえで、環境・職業理解および自己理解を深め、自身の目指すキャリアデザインを検討することを目的とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・主に1年次を対象としていることから、初年次教育としての側面を考慮し、高校から大学への学びの転換の必要性を理解できるよう講義した。 ・社会の動きに目を向ける必要性を認識するため、社会・経済・雇用の動向について新聞記事を中心に用いて解説し、基礎知識の定着を図った。 ・福井県内に事業所を持つ製造業、流通業、金融業、情報通信業、公務（福井県庁）の各分野から経営者を含むゲストスピーカーによる講義を計7回実施し、地域の関わりの中でのキャリア形成を考える機会とした。 ・毎回の講義でミニツツペーパーの作成を課し、文章作成力の向上を図った。 【ゲストスピーカー：10人】
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 キャリアデザイン概論Ⅰ（2単位）1年次
②内容・ねらい 本科目は経済学部専門関連科目として、多くの学生が受講可能とするため、同一内容を①②の二つの曜限で設定して開講された。今後の学生生活を充実させることの意義を確認するとともに、産業や職業世界についての理解を深め、自身の目指すキャリアデザインの基礎固めを行うことを目的とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・主に1年次を対象としていることから、初年次教育としての側面を考慮し、高校から大学への学びの転換の必要性を理解できるよう講義した。 ・社会の動きに目を向ける必要性を認識するため、社会・経済・雇用の動向について新聞記事を中心に用いて解説した。 ・産業と職業の関係、職業の世界を見る視点、企業等の事業体について解説し、基礎知識の定着を図った。 ・変化する労働環境や働き方について、最新の動向を各種データに基づいて解説した。 ・福井県庁教職魅力発信ディレクターによるゲスト講義を行い、福井県内での教職キャリアについて学ぶ機会を設けた。 ・毎回の講義でミニツツペーパーの作成を課し、文章作成力の向上を図った。 【ゲストスピーカー：1人】

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
キャリアデザイン概論Ⅱ（2単位）1年次

②内容・ねらい

本科目は経済学部の特設関連科目として、多くの学生が受講可能とするため、同一内容を①②の二つの曜限で設定して開講された。本科目では、自己理解を深めることを通じて、自身が目指したいキャリアのあり方について検討したうえで、目指すキャリアデザインを実現するために必要な事項を認識することを目的とした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

- ・多面的に自己を理解するために、VPI 職業興味検査、各種のアセスメントツールや尺度、ワークシートを活用した。
- ・これらのツールを用いるうえでは、その背景となっている理論を概説し、結果の読み取りを的確に行うための配慮を行った。
- ・ストレスへの対応に関心を持つ受講生が多いことから、認知的アプローチを中心としたセルフヘルプについての演習を実施した。
- ・福井県庁人材発掘ディレクターによるゲスト講義を行い、県庁職員の魅力、地元への貢献を通じたキャリア形成について学ぶ機会を設定した。
- ・福井県庁定住促進課との連携を通じて、福井県地域おこし協力隊員・福井県フィルムコミッションコーディネーターによる「映画を起点とした自己理解キャリア講義」を実施した。
- ・就職情報関連企業によるゲスト講義を行い、3年次のインターンシップの取り組みの意義と活用方法について解説した。
- ・毎回の講義でミニッツペーパーの作成を課し、文章作成力の向上を図った。

【ゲストスピーカー：3人】

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
キャリアデザイン特論（2単位）2年次

②内容・ねらい

本科目は経済学部の特設関連科目として、多くの学生が受講可能とするため、同一内容を①②の二つの曜限で設定して開講された。本科目では、キャリアプランニング能力を高め、自己理解に基づいてキャリアデザインを行うとともに、自己表現力を高め、来るべき進路選択や就職活動、職業決定に備えることを目的とした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

- ・自己理解の内容と職業選択との関連を理解するため、各種のワークシートや尺度を用いた演習を多く取り入れた。
- ・SDS キャリア自己診断、厚生労働省編一般職業適性検査（GATB）といった信頼性の高い検査を活用し、結果の読み取りを的確に行うよう解説した。
- ・就職先の選択にとどまらず、生涯にわたるキャリア発達の考え方について解説した。
- ・福井県庁人材発掘ディレクターによるゲスト講義を行い、県庁職員としてのキャリア形成と採用に向けた具体的な解説を行った。
- ・福井県内企業の経営者と県内の公認会計士・税理士を招聘し、決算書記載情報を通じた企業経営の分析、経営者の視点を通じた地元におけるキャリア形成を考える機会としたゲスト講義を行った。
- ・福井県内企業の経営者によるゲスト講義を行い、キャリア形成におけるチャンスの活用の視点について解説を行った。
- ・毎回の講義でミニッツペーパーの作成を課し、文章作成力の向上を図った。

【ゲストスピーカー：4人】

(2)その他の教育活動

- ・関西大学社会学部において「外国文献研究Ⅰ」「職業指導の技術Ⅰ」「職業指導の技術Ⅱ」を担当した。
- ・関西大学教育推進部において「キャリア形成入門演習」を担当した。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	・大学生のイラショナルキャリアビリーフと就職活動との関連, 単著, 2025 年, 風間書房 【1 本】
②学術論文 (査読あり)	・森本康太郎 (2025). ハプンスタンス学習理論の 5 つのスキルとキャリアビリーフの関連 福井県立大学経済経営研究, 48, 9-16. 2025 年 3 月. ・森本康太郎 (印刷中). ポジティブイラショナルビリーフ尺度日本語版 (J-PIBS) の作成の試み 心理学の諸領域 (北陸心理学会), 15. 2025 年 12 月採択. ・森本康太郎 (印刷中). 福井県出身大学生の地域移動パターンと勤務希望地, 地元志向, キャリア意識の関連 地域公共政策研究 (地域公共政策学会), 36. 2025 年 12 月採択. 【3 本】
③その他論文 (査読なし)	・森本康太郎 (2025). 地元志向からみた福井県内大学生のキャリア意識: 予備的検討 地域公共政策研究 (地域公共政策学会), 35, 43-48. 2025 年 10 月. ・Kotaro Morimoto (2025). Exploring Cultural Adaptation of Career Beliefs Inventory in Asia: Development of Japanese ICBI AASVET2025 Paper Book, 476-483. 2025 年 11 月. 【2 本】
③ 学会発表等	・森本康太郎 (2025). 地元志向からみた福井県内大学生のキャリア意識: 予備調査の結果から 第 15 回北陸地域政策研究フォーラム 2025 年 3 月. ・森本康太郎 (2025). ポジティブイラショナルビリーフ尺度日本語版の作成 (第 2 報) 日本応用心理学会第 91 回大会 2025 年 8 月. ・森本康太郎 (2025). 令和を生きる心理学を学んだ人のキャリア探索 (話題提供者) 日本心理学会第 89 回大会 大会企画シンポジウム 2025 年 9 月. ・森本康太郎 (2025). 福井県出身の大学生における地元志向とキャリア意識の関連 日本キャリア教育学会第 47 回研究大会 2025 年 10 月. ・Kotaro Morimoto (2025). Exploring Cultural Adaptation of Career Beliefs Inventory in Asia: Development of Japanese ICBI The 21st Asian Academic Society for Vocational Education and Training Annual Conference (AASVET2025) 2025 年 11 月. ・地域移動と地元志向, キャリア意識の関連: 福井県出身学生を対象として 北陸心理学会第 60 回大会 2025 年 12 月 【5 件】
④ その他の公表実績	・福井県出身の大学生の地元志向とキャリア意識—地域移動パターン分析から見える採用・定着の示唆— 未来協働プラットフォームふくい実行部門会議 部門 4 令和 7 年度採用力向上セミナー 2025 年 10 月.
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
・JSPS 科研費 24K16715 地域移動と地元志向の観点からみた学生のキャリア意識に関する研究 研究代表者 2024 年～2026 年	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
・日本キャリア教育学会 中部地区部会 幹事 (2025 年 4 月～) ・日本キャリアデザイン学会 研究誌編集委員会 編集委員 (2025 年 10 月～) ・北陸心理学会 機関誌編集委員会 編集幹事補佐 (2025 年 12 月～) ・北陸心理学会第 60 回大会 研究発表 No.4 座長 (2025 年 12 月 13 日、富山大学)	

5. 地域・社会貢献活動

①-1 委員就任（国）

①-2 委員就任（県）

- ・ 福井県教育庁 教職魅力発信システム構築・運用業務に係る審査委員会 委員

①-3 委員就任（市町村）

①-4 委員就任（その他公益法人等）

②国・地方公共団体等の調査受託等

③NPO・NGO 法人への参加

④企業等での活動

⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等

- ・ 未来協働プラットフォームふくい実行部門会議 部門 4「県内企業等への就職」

⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講

⑦その他

6. 大学運営への参画

(1)補職

- ・ キャリアセンター副センター長

(2)委員会・チーム活動

- ・ 学生支援委員会委員
- ・ FD 部会委員

(3)学内行事への参加

- ・ キャリアセンター業界研究セミナー

(4)その他、自発的活動など

- ・ 全学科教員とキャリアセンターとの定例協議会を実施し、進路決定状況（卒業者、4 年次生）、キャリアセンターによる各種支援取り組みの状況、学生の就職活動の現況、キャリアセンターの基本的方針等に関する情報共有や意見交換を実施した。
- ・ ハローワーク福井「新卒応援ハローワーク」との連携開始に向けた取り組み（永平寺キャンパスにおけるハローワーク相談員派遣）を推進した。